

芽室町商工会役員との意見交換会

開催年月日： 令和6年11月6日（水）開催場所： 商工会会議室出席議員： 正村委員長・木村副委員長・西尾・常通・渡辺・橋本・菊池・梶澤議長参加者： 太田会長・青木副会長・新居理事・小林理事・中島理事・松久理事・松山理事・宮間理事・小椋監事（合計：17人）記録者名： 正村

テーマ	意見交換内容
先進地事務調査報告	<ul style="list-style-type: none"> ・視察した自治体の共通点として「中心市街地活性化は観光客よりも住民のための取組」と説明があったが同感である。 ・本町も町民が訪れる中心市街地、まちづくりに取り組んでほしい。
中心市街地の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・33店舗が閉店閉鎖し、シャッターを下ろした状態が目立つ。 ・人通りが少なく活気がない。 ・オンラインショッピングが普及し、店舗を訪れる機会が減少している。
まちなか再生ビジョンの具体的な取組と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・起業支援に特化した取組は充実している。 ・既存店舗や事業者へのサポートが手薄であると感じている。 ・「まちなか再生ビジョン」について、町と商工会役員の間で認識や取組に対するギャップが生じている。 ・進捗状況についての説明が不十分である。
中心市街地活性化に向けた今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業者と既存事業者をつなぐ交流や連携の機会を創出する。 ・町は商工会と連携を強化し、商業者の意見を反映した事業展開を実施する。
議会への要望と商工会の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・町の取組と住民の思いの差を埋めるために、議会が積極的に支援策を検討すること。 ・町が町内の業者を優先的に利用する仕組みを構築するよう要望があった。
【対応】	<p>地元事業者支援を目的とした仕組みについては、まず現状の把握を行っていく。</p>